

2022年5月10日  
スカウト進歩委員会  
調査部会

## 調査所見

2022年3月末時点の進歩状況調査について、所見を下記にまとめました。  
一部未提出の団があり、各データには不確定な部分があることをご承知おきください。

### <BVS部門>

小枝章取得数は、小1ビーバー2.6個（昨年2.6個）、小2ビーバー3.4個（昨年3.2個）とも昨年同時期と同じであった。昨年からコロナの影響が出ており、取得数減が継続している。（コロナ以前は、小1は3.7、小2は3.9個）

### <CS部門>

チャレンジ章取得は、うさぎ2.6個（昨年2.9個）、しか3.9個（昨年4.0個）、くま5.6個（昨年5.9個）ところらも昨年からコロナの影響が出ており、取得数減が継続している。（コロナ以前の一昨年は、うさぎ3.6、しか5.4、くま7.9個）

### <BS部門>

中学2年で2級以下である割合が71%（昨年71%）、中学3年で2級以下である割合が43%（昨年35%）であり、中学3年で2級以下である割合がさらに増加している状況である。（コロナ以前の一昨年は、中2は48%、中3は23%）

### <VS部門>

高校1年で1級以下の割合が44%（昨年42%）、高校2年で1級以下の割合が36%（昨年39%）であり、コロナの影響が出ていると考える。（コロナ以前の一昨年は、高校1は33%、高校2は22%）

### <技能章修得数>

技能章修得は、1,118個（昨年1,357個）と昨年からコロナの影響が出ており、取得数減している。

### <総括>

昨年同様、新型コロナの影響による活動の自粛により、進歩状況に著しく悪い影響が出ていることが確認された。BVS、CS部門は昨年とほぼ横ばい、BS部門の中3は昨年度よりもさらに悪化している。特に中3で2級以下の割合が43%とほぼ半数であることは、重大な事象と考える。VSへの上進率の低下、登録者数減が起こらないよう、魅力あるボーイスカウト活動を展開していかなければならない。

VS部門は、コロナ前と比較し大きく変化はない。これは昨年の考察同様、個人もしくは小人数による活動が主体であることから大きく影響が出ていないと思われる。

最後に技能章の修得状況は、昨年同様落ち込みが確認された。隼、富士への進級が落ち込まないよう修得支援・配慮が必要と考える。

コロナ禍でも「指導者の知恵と工夫とやる気」が大切だと考える。コロナの影響も少なくなり、今後、スカウト活動が活発化し、進歩状況も改善されてくることが待たれるが、調査部会としては、現状でも活発な団もいることなど、前向きな情報を今後も発信していきたいと考える。

以 上